

充滿す。世の不良少年と稱せらるゝものは、低能兒に少し毛の生へたるもの也。高尚なる慾缺けて、低級の慾充滿し、色慾殊に旺也。偉人を目掛けて、靜に書を読む能はず、白粉の匂が鼻につきて、若き女を追ひ廻すやうになりては、志を立つるも絲瓜もあつたものにあらざる也。英雄豪傑の卵とても、食慾もあり、色慾もあり、されど、高尚なる慾多し。道德慾も旺なれば、知識慾も旺也。故に高尚なる慾を以て、低級の慾を壓抑するを得る也。兎に角に色慾の生ずる頃は、身體も大に發達し、精神も大に發達す。その發達二十一二歳頃まで續く人もあれば、二十五六歳頃まで續く人もあり、一生の中、殊に最も勉強し、修養すべきは、實に此時代也。學校を出て、どうにか、かうにか月給にありつき、妻もでき、子もでき、貧乏所帯をや

りくりするに至りて後、始めて志を立てたりとて、恐らくは日暮れて路遠きの感あるべし。
次に人となりに就いて言はんには、眞面目の人ならざるべからず。而も氣力ある人ならざるべからず。殊に忍耐力に富まざるべからず。眞面目の人にして、始めて偉人の感化あり。其人また偉人となるの資格あり。杉を見よ、檜を見よ、喬木は必ず眞直なるもの也。始めより曲らば、唯地上を這はむのみ。安んぞ轟立天を衝くを得むや。人とても不眞面目なる人は、人を馬鹿にしてかゝり、世を茶化してかゝり、深く研究することなく、又毫も反省する事なく、到底偉大にはなれず。小才の利く者は、一時世をごまかすことを得れども、長くは續かず、才子の末路多くは失敗に終る。之に反して、眞面目にして、眼前一時の利

害損得に頓着せざるものは、終に大成し、徹底すべし。さればとて、如何に眞面目にても、氣力なくては不可也。之を樹木に見るも如何に眞直なりとも、生氣なくば生長せず。樹木の生氣は、即ち人間の氣力也。樹木に生氣ありて、眞直なる樹木が益眞直に高くなり、人に氣力ありて、眞面なる人が益眞面目にして高くも大きくもなる也。眞面目のみにして、元氣なくば、所謂苗にして秀でざるもの也。元氣ありとも、忍耐力なくんば、所謂秀で、實らざるもの也。眞面目に元氣加はりたりとも、迫害日々に至り、誘惑夜々に来る。白刃前より來ることあり、餓虎後より襲ふことあり、一功を奏すれば百患來り、一利を得れば千害來る。終に有爲の秀才も、中途にして挫折するもの少からず。これ忍耐力の缺乏に基く。忍耐なる哉、忍耐なる哉。

人、忍耐を缺かば、智ありとも、學ありとも、勇ありとも、決して大成せざるべし。唯一身を安樂に送りたし、事業をしたくもなし、研究をしたくもなし、國につくすとはいや也。世の爲め、人の爲めにつくすは馬鹿々々しと思ふものあらば、悪人にはあらずとも、有つて益なき人也。否、米喰ふ蟲也、製糞器也。身體弱からば、運動なり養生なりして強くせよ。智なくば、勉強して智を得よ。未だ努力せずして、一身を安樂に送りたしと思ひたればとて、一時は兎も角一生が決して安樂に送らるべきに非ず。眞の安樂は努力を外にして得べからざる也。

冷 汗 記 (完)

大正五年九月十日印刷
大正五年九月十四日發行

冷汗記與付

定價金五拾錢



發行所

明治二十九年
六月設立

東京

合貴

社富

山

房

電本一〇三六、四一三〇番

著者

大町芳衛

發行者

東京市神田區裏神保町九番地
合資會社富山房

代表者

同所 合資會社富山房社長
坂本嘉治馬

印刷者

東京市芝區愛宕町三丁目二番地
笠間音次

印刷所

東京市芝區愛宕町三丁目二番地
東洋印刷株式會社

東京富山房發兌

黑板文學博士序『學生』編輯主任 西村醉夢先生著

最新刊 新國努力の跡

袖珍美本紙數
約三百三十頁
定價四拾五錢
郵稅金六錢

歴史は藝術也、科學也。

著者は此立場より其の彩筆を揮つて吾が國史中より著しき人物と事件とを描出せり。

觀察は文明的、批判は科學的、敘述は文學的にして、全く在來の歴史と其態度を異にせり。著者の目的は歴史によりて新國民主義を宣傳せんとするにあり。著者は多年青年の味方として、青年の爲に活動せり。今又新たに青年の前に本書を提供す。大正新世の青年たるもの精讀玩味して奮勵自覺する所なかるべからず。

東京富山房發兌

『學生』

主筆 大町桂月先生序
編輯主幹 西村眞次先生編

(好評三版)

作文新美辭寶典

袖珍美本四百二十餘頁
定價金五拾錢 郵稅六錢

多年青年文壇を率ゐて立てる西村醉夢先生、最近文學中より美辭佳句を集めて一書を成し文章に志す士に供す。本書是也。本書は内容を春夏秋冬、天象地文、植物動物、機具雜纂の十種類に分ち、數百項を設け、各項數十の美辭を陳れて作文の材料に供す。同類の書坊間甚だ多しと雖も、斬新なる點に於て、その純粹なる點に於て、その懇切なる點に於て、特に實用的なる點に於て本書の上に出づるものなし。屬文の士を購て之を座右に備へよ。

『學生』記者

西村醉夢先生編

(好評三版)

ナポレオン

三色版石版寫眞版コロタ
イブ等口繪挿畫無慮三百
定價金壹圓 郵稅拾貳錢

怪雄大那翁を各方面より敘述評論せしもの、四十餘大家の執筆にして、痛快壯絶、而して那翁が如何に多方面に不可測の技倆を有せしかを理解せしむべく、繪畫の豊富絢爛、天下無比なり。

東京富山房發兌

大町桂月先生會心四名著名

版六

日本男兒論

袖珍美本全一冊
定價金五拾錢
郵稅六錢

文壇の雄將大町桂月先生、青年の軟弱に慨する所あり、國家百年の長計の爲に健腕を揮つて本書を稿せらる。言々句句血淚を纏繞ならざるはなし。國家多事の時、青年學生たるもの本筆を繙いて覺醒せざるべけんや、附録美文隨筆は、先生獨特の麗筆、兩者併せ讀まば、壯士月下に劍を舞はずが如きを見ん。

版一十

新學生訓

袖珍美本定價金四拾錢 郵稅六錢

版二十

筆のすさび

袖珍美本定價金四拾五錢 郵稅六錢

版六十

すざりの水

袖珍美本定價金四拾錢 郵稅六錢

桂月先生青年を訓ふる年あり、宛然父母の我兒に臨むが如し、新學生訓は實に先生最近の訓話集也、先生時に美文あり、旅行記あり感想文あり、收めてすざりの水、筆のすさび二卷に存す。何れも皆金玉の文字、現代人士必讀の書、以て修身處世の鑑となすべく、以て文章練達の師となすべし也。

71
591

終